

# これからの相談支援を考えるセミナー

これからの相談支援のあり方は、

- ① より一人ひとりに寄り添うものに！
- ② より地域での日常の生活に即したものに！
- ③ 年代や障害によって分けられていたものを統合し、より総合的に！

今、求められるソーシャルワークとは何かを探ります!!

2005.6.12(Sun)

【会場】**損保会館**（東京都千代田区）

日 程 6月12日(日)

10:30 10:40 12:00 13:00 13:30 14:00 14:20 16:20 16:30

開 会	基調講演	昼食	実践報告1	実践報告2	休憩	ディスカッション	閉会
-----	------	----	-------	-------	----	----------	----

## プログラム

### 基調報告 ケアタウン総合研究所 所長 高室 成幸 氏

「あたらしい福祉人材の育成」と「福祉・医療・保健の地域支援システム構築」の両面から活動が続けている。プロジェクトコーディネーターとして、確かな手腕を発揮し、さまざまなジャンルの専門家と幅広い人脈を持つ。

福祉と介護を「地域」で担う時代に、在宅介護支援セ

(著書:「地域支援コーディネートマニュアル(法研)」より一部抜粋)

ンターも新しい存在として生まれ変わろうとしています。ケアマネジメント機能からコーディネート機能へ。2006年に導入が検討されている「地域包括支援センター」は、地域福祉の中心的役割の一翼を担います。これからの地域生活支援に向けてさまざまなチャレンジが始まっています。

### 実践報告1 せんだんの杜なかやま もうもう亭 吉田 喜代美 氏

逆デイサービスやユニットケアの実践を通じて、地域での暮らしを支援することに重点を置き、小学校区をエリアとした「地域サテライトケア」を構想、実践する。もうもう亭は、その中のひとつである中山小学校区における地域拠点。名前の由来は、地域でなじみのあった焼肉屋さんの空店舗を改装して拠点としたため、地域住民に馴染みのある焼肉屋さんの名前をそのまま継承したもの。

もうもう亭では、高齢、障害、児童の別なく、地域のよりどころとしてのサロンや相談活動を積極的に実践している。制度上のものとしては、在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所、子育て支援センターを、自主事業として、障害児・者相談支援センター、市民・ボランティア活動応援センターを、同じ場所で一体的に運営している。

### 実践報告2 ひがしまつやま市総合福祉エリア 施設長 曽根 直樹 氏

ユニバーサルな支援とともに生きる社会を目指して、平成10年7月に東松山市の障害者プランとして「市民福祉プランひがしまつやま」を策定。このプランでは、手帳をもつ障害者だけでなく、ハンディキャップの状態にあるすべての人を支援することを計画の基本理念にしている。また、「障害がある、なしで分けない」ことから「統合保育」「統合教育」の推進をうたった。

また、支援の統合を目指して東松山市総合福祉エリアにて「総合相談センター」を開設(平成12年10月)。3障害(身体障害・知的障害・精神障害)の支援センター、高齢者の相談(在宅介護支援センター)を一体にして、年中無休、電話相談は24時間対応を実現。平成15年度の年間相談は9000件以上。

## ディスカッション

### パネラー

せんだんの杜なかやま もうもう亭 吉田喜代美氏  
ひがしまつやま市総合福祉エリア

施設長 曽根 直樹 氏

アザレアンさなだ 施設長 宮島 渡 氏

厚生労働省大臣官房 参事官 石黒 秀喜 氏

### コーディネーター

神戸学院大学総合リハビリテーション学部

助教授 藤井 博志 氏

ディスカッションでは、「地域包括支援センター」の制度化を目前にひかえ、言葉だけではない、実のある「地域密着」を実現するためには何が大切なのか、住民にとって必要な相談支援はどうあるべきかを実践報告者のお二人を交えながら議論していきます。宮島氏には、相談支援拠点として地域のなかにある本当の意味を、アザレアンさなだの実践を踏まえて語っていただきます。また、厚生労働省からは、石黒氏に登壇いただき、最新の制度情報を踏まえながら議論していきます。

ソーシャルワーカーやケアマネジャーは今後どうあるべきか、地域での暮らしを支援するためになすべきことは何かを徹底討論!!

# これからの相談支援を考えるセミナー 参加登録のご案内

## 1. 参加登録（申し込み）について

参加費：お1人様につき 8,000円

定員：200人

定員に達した場合は、締め切り期日前でも、その時点で締め切らせていただきますのでご了承ください。

## 2. 申し込み手順

参加申込書に必要事項をご記入のうえ、**5月31日（火）必着**で全国コミュニティライフサポートセンターまで、FAX・E-mail・郵送のいずれかの方法でお申し込みください。参加申込書でお申し込みと同時に、参加費の合計額を下記口座までお振込みください。入金確認後、参加票をFAXにて発送いたします。

ご入金後、キャンセルによるご返金はできませんのでご注意ください。

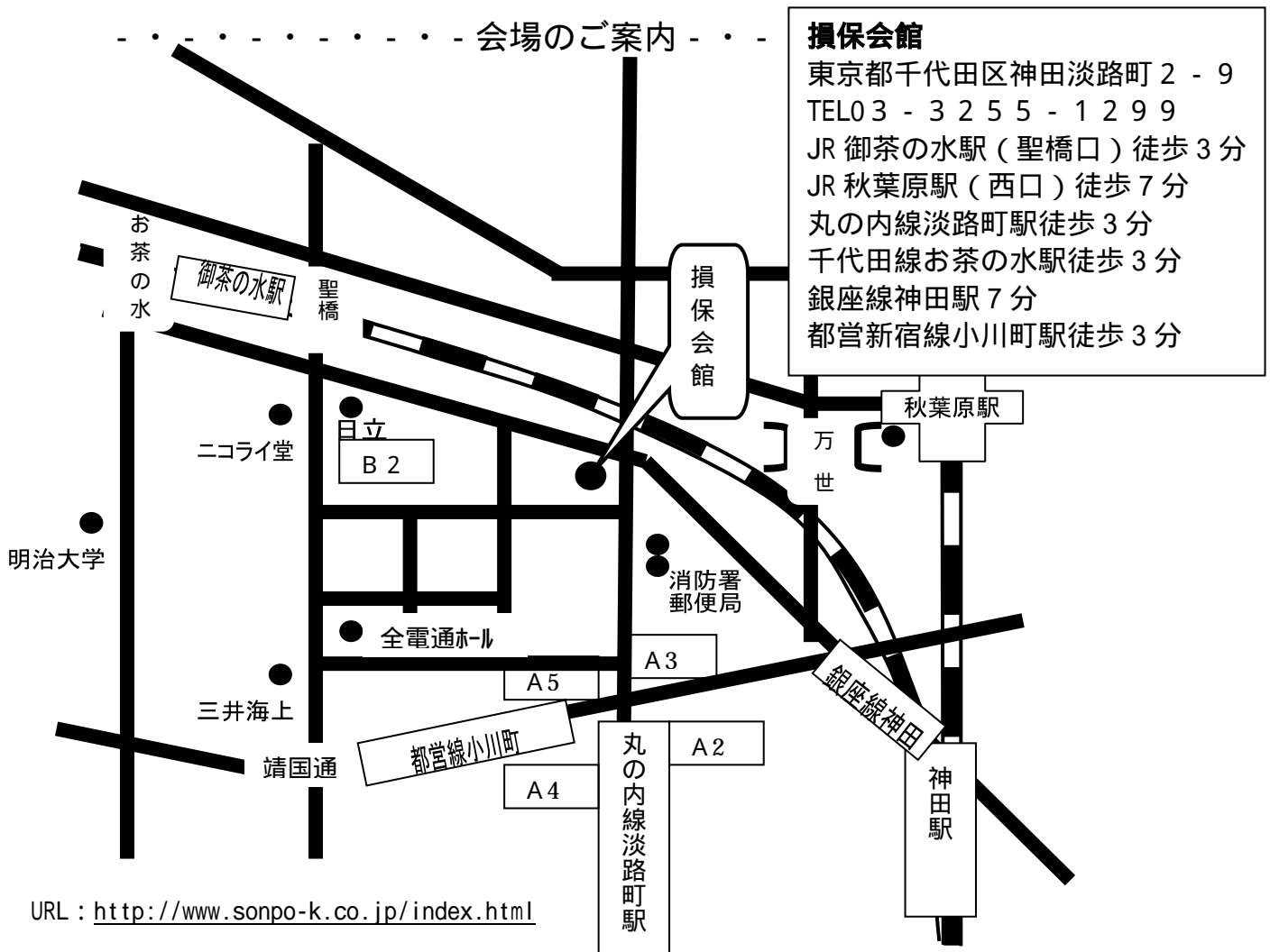
【申 込 先】全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）

【郵便振替口座】加入者名：全国コミュニティライフサポートセンター

口座番号：02260-9-46303（右詰でご記入願います。）

注 意：通信欄に必ず「相談支援セミナー」とご記入ください。

--- 会場のご案内 ---



送信先：全国コミュニティライフサポートセンター  
FAX 番号：022-719-9251

## これからの相談支援を考えるセミナー 参加申込書

住 所	〒		
施設名 (所属)			
TEL		FAX	
申 込 者 氏 名			
	ふりがな 氏 名		役 職
例	ちよだ たろう 千代田 太 郎		施設長
1			
2			
3			
4			
5			

### お問い合わせ先

全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）東日本内

住 所：〒981-0954 宮城県仙台市青葉区川平 5 - 3 - 18 - 207

TEL：022 - 719 - 9240

FAX：022 - 719 - 9251

URL：http://www.clc-japan.com/

E-mail：clc@clc-japan.com